

決 算 期	毎年 3 月 31 日
定時株主総会	毎年 6 月
利益配当金支払株主確定日	毎年 3 月 31 日
中間配当金支払株主確定日	毎年 9 月 30 日
基 準 日	毎年 3 月 31 日 (そのほか必要があるときはあらかじめ公告いたします。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉 2 丁目 8 番 4 号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03 (3323) 7111 (代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
1 単元の株式数	1,000 株

ICHIKOH

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



目 次

株主の皆さまへ	1
ICHIKOH WORKS	2
財務ハイライト	3
連結決算概要	4
単独決算概要	6
Topics	8
株式の状況	12
会社概要	13

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社グループ平成16年度の営業の概況等をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、中国及び米国向けを中心とした輸出や民間設備投資の増加、及び雇用面の改善等により比較的順調に推移しました。しかしながら、年度後半は原油価格や素材価格の高騰などの影響で不透明感を残すものとなりました。

海外におきましては、米国は設備投資等が堅調に推移し景気拡大の動きが見られ、中国を中心としてアジアについても消費や輸出の増加により景気は引続き拡大基調で推移しております。一方欧州においては本格的な回復には至らないままに終始致しました。

自動車業界におきましては、乗用車の販売や輸出が順調であったことから、国内生産台数は前年比2.5%増の1,062万台となりました。

このような環境のもと、当社グループは売上高の拡大、新規事業分野の開発促進、グループ全社を挙げての合理化への取り組み等を行ってまいりましたが、原油価格や素材価格の高騰を吸収するには至りませんでした。

その結果、当期の連結売上高状況及びその他の営業概況は以下の通りであります。

当社グループ主力の自動車部品関連の売上高は115,137百万円で、自動車関連以外の部門におきましては2,959百万円となりました。

上記により、当期の連結売上高は118,096百万円となり、収益面につきましては連結経常損失は525百万円、又連結当期純利益は1,379百万円をそれぞれ計上することとなりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年 6 月

代表取締役社長

市川 脩男



当社は100年以上の実績を持つ自動車用ランプとミラーのメーカーとして、変わらぬ情熱と旺盛なパイオニア精神でクルマの歴史とともに歩んでまいりました。また独自の開発製品を主体に、新しい時代に対応した企業造りに積極的に取り組んでおります。企業ビジョン「人と地球に優しく、安全と快適を創造する国際企業グループへ」のもと、市光の技術を結集して作り出された製品を一部ご紹介致します。

ICHIKOH初の環境対応型ヘッドランプシステム
Adaptive Front-lighting System (AFS)



HID光源を使った可動式のプロジェクターをベンディングランプとして使用し、ステアリングに連動した電子的な調光制御を実現しました。

当社初のAFS搭載車
TOYOTA ALPHARD



LED大型イルミネーションランプ
TOYOTA MARK-X

世界初フルLED
大型多機能オーバーヘッドコンソールランプ

頭上に装着された大型コンソールに、マップランプ・リーディングランプ・ルームランプ・ハンズフリーマイク・メガネケースを搭載した、世界初の多機能オーバーヘッドコンソールランプです。全ての光源にLEDを採用した、フルLED仕様。夜のインテリアをムーディーに演出する面発光イルミネーションランプです。

新型ロマンスカーVSE（50000型）に前照灯を搭載



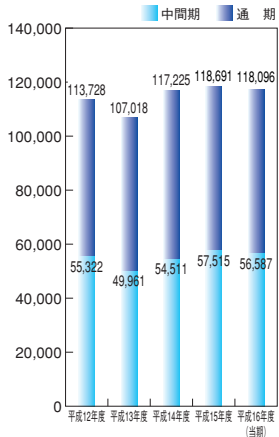
05年3月、新宿と箱根路を結ぶ小田急ロマンスカーが9年振りにリニューアルされました。この生まれ変わったロマンスカーVSE（50000型）にはICHIKOHの前照灯が搭載されています。電車用ランプの受注はJR東日本の高崎線・宇都宮線通勤電車等に続き8車種目となり、ICHIKOHの技術は自動車以外にも活かされています。

小田急ロマンスカーVSE（50000型）

連結財務ハイライト

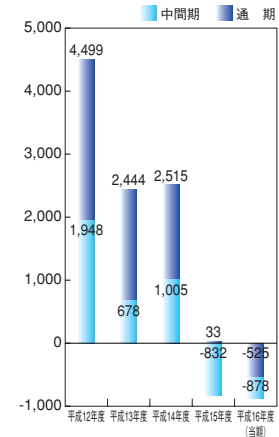
売上高

（単位：百万円）



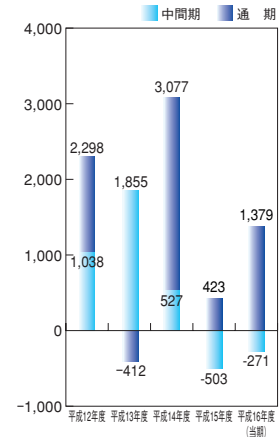
経常利益

（単位：百万円）



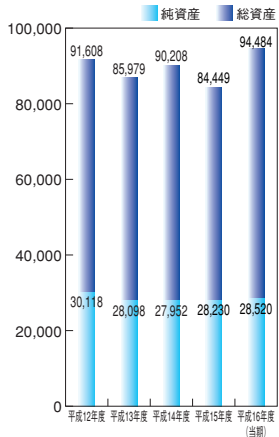
当期純利益

（単位：百万円）



総資産・純資産

（単位：百万円）

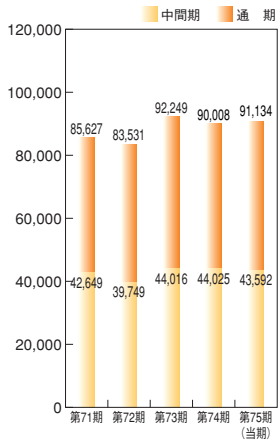


※当社は平成12年度より中間連結会計期間の数値を算出しております。

単独財務ハイライト

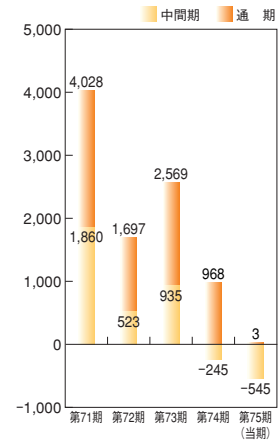
売上高

（単位：百万円）



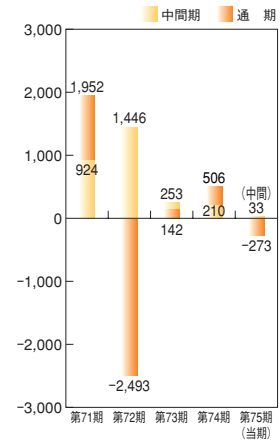
経常利益

（単位：百万円）



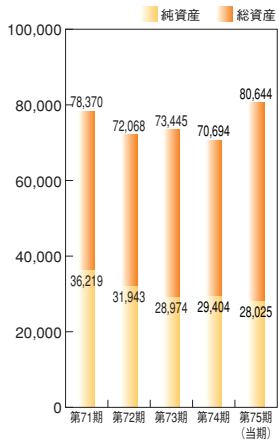
当期純利益

（単位：百万円）



総資産・純資産

（単位：百万円）



連結決算概要

連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)					
科 目	当連結会計年度末 平成17年 3 月31日現在	前連結会計年度末 平成16年 3 月31日現在	科 目	当連結会計年度末 平成17年 3 月31日現在	前連結会計年度末 平成16年 3 月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	48,582	43,762	流 動 負 債	39,326	37,560
現 金 及 び 預 金	9,790	5,959	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	21,892	20,079
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	23,174	22,662	短 期 借 入 金	4,905	5,541
有 価 証 券	339	422	1 年以内償還予定の社債	80	80
た な 卸 資 産	8,368	8,921	1 年以内返済予定の長期借入金	4,874	3,174
繰 延 税 金 資 産	1,236	1,244	未 払 金	784	917
そ の 他	5,759	4,642	未 払 法 人 税 等	855	1,828
貸 倒 引 当 金	△ 85	△ 90	未 払 費 用	2,732	2,935
固 定 資 産	45,901	40,686	製 品 保 証 引 当 金	479	510
有 形 固 定 資 産	27,192	26,070	繰 延 税 金 負 債	23	—
建 物 及 び 構 築 物	7,777	7,406	そ の 他	2,699	2,492
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	7,904	6,532	固 定 負 債	25,263	17,228
工 具 器 具 及 び 備 品	2,864	2,677	社 債	1,199	1,265
土 地	5,938	6,036	長 期 借 入 金	11,702	5,394
建 設 仮 勘 定	2,706	3,416	繰 延 税 金 負 債	21	24
無 形 固 定 資 産	230	207	退 職 給 付 引 当 金	10,325	8,273
投資その他の資産	18,477	14,408	役 員 退 任 慰 労 引 当 金	225	221
投 資 有 価 証 券	8,690	9,353	連 結 調 整 勘 定	12	18
長 期 貸 付 金	28	31	そ の 他	1,777	2,030
繰 延 税 金 資 産	7,947	3,219	負 債 合 計	64,590	54,789
そ の 他	1,848	2,018	少 数 株 主 持 分	1,373	1,429
貸 倒 引 当 金	△ 37	△ 213	資 本 の 部		
資 産 合 計	94,484	84,449	資 本 金	8,929	8,929
			資 本 剰 余 金	7,840	7,840
			利 益 剰 余 金	14,184	13,419
			その他有価証券評価差額金	14	504
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 2,435	△ 2,453
			自 己 株 式	△ 13	△ 9
			資 本 合 計	28,520	28,230
			負債、少数株主持分及び資本合計	94,484	84,449

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

(単位：百万円)		
科 目	当連結会計期間 平成16年 4 月 1 日から 平成17年 3 月31日まで	前連結会計期間 平成15年 4 月 1 日から 平成16年 3 月31日まで
売 上 高	118,096	118,691
売 上 原 価	101,479	101,873
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	16,322	16,973
営 業 利 益	295	△ 155
営 業 外 収 益	1,244	1,403
営 業 外 費 用	2,065	1,214
経 常 利 益	△ 525	33
特 別 利 益	798	2,194
特 別 損 失	2,466	419
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	△ 2,193	1,809
法人税、住民税及び事業税	841	1,966
法 人 税 等 調 整 額	△ 4,376	△ 738
少 数 株 主 利 益	△ 37	158
当 期 純 利 益	1,379	423

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書（要旨）

(単位：百万円)		
科 目	当連結会計期間 平成16年 4 月 1 日から 平成17年 3 月31日まで	前連結会計期間 平成15年 4 月 1 日から 平成16年 3 月31日まで
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	7,840	7,840
資本剰余金期末残高	7,840	7,840
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	13,419	13,623
利益剰余金増加高	1,379	423
当期純利益	1,379	423
利益剰余金減少高	613	627
配 当 金	575	576
役 員 賞 与 金	37	51
利益剰余金期末残高	14,184	13,419

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)		
科 目	当連結会計期間 平成16年 4 月 1 日から 平成17年 3 月31日まで	前連結会計期間 平成15年 4 月 1 日から 平成16年 3 月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,177	△ 588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,082	△ 6,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,701	△ 3,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△ 89
現金及び現金同等物の増減額	3,820	△ 9,968
現金及び現金同等物の期首残高	5,312	15,281
現金及び現金同等物の期末残高	9,133	5,312

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独決算概要

貸借対照表

(単位：百万円)					
科 目	第75期末 平成17年 3 月31日現在	第74期末 平成16年 3 月31日現在	科 目	第75期末 平成17年 3 月31日現在	第74期末 平成16年 3 月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	40,822	34,840	流 動 負 債	29,971	28,951
現 金 及 び 預 金	6,886	3,401	支 払 手 形	4,624	4,480
受 取 手 形	1,073	584	買 掛 金	15,313	14,329
売 掛 金	18,826	18,721	短 期 借 入 金	1,600	1,600
有 価 証 券	263	363	1 年以内返済予定の長期借入金	2,527	1,747
製 品	1,772	1,925	未 払 金	438	525
原 材 料 ・ 貯 蔵 品	1,347	1,168	未 払 法 人 税 等	749	1,702
仕 掛 品	721	588	未 払 費 用	1,993	2,139
前 払 金	1,426	1,466	製 品 保 証 引 当 金	479	510
未 収 入 金	4,236	3,049	そ の 他	2,246	1,916
関係会社短期貸付金	3,366	2,418	固 定 負 債	22,647	12,338
繰 延 税 金 資 産	959	1,177	長 期 借 入 金	9,600	2,627
そ の 他	172	203	退 職 給 付 引 当 金	9,674	7,716
貸 倒 引 当 金	△ 231	△ 228	役 員 退 任 慰 労 引 当 金	219	217
固 定 資 産	39,822	35,853	長 期 預 り 金	1,777	1,777
有 形 固 定 資 産	20,808	19,455	債 務 保 証 損 失 引 当 金	1,376	—
建 構 物	5,533	5,264	負 債 合 計	52,619	41,290
機 械 及 び 装 置	6,412	4,974	資 本 の 部		
車 輛 運 搬 具	27	42	資 本 金	8,929	8,929
工 具 器 具 及 び 備 品	1,848	1,598	資 本 剰 余 金	7,393	7,393
土 地	4,287	4,287	資 本 準 備 金	7,393	7,393
建 設 仮 勘 定	2,428	2,973	利 益 剰 余 金	11,751	12,634
無 形 固 定 資 産	176	157	利 益 準 備 金	1,543	1,543
ソ フ ト ウ ェ ア	77	58	配 当 引 当 積 立 金	600	600
そ の 他	99	99	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	363	364
投資その他の資産	18,837	16,239	別 途 積 立 金	8,909	8,909
投 資 有 価 証 券	8,017	8,680	当 期 未 処 分 利 益	335	1,216
関 係 会 社 株 式	2,174	3,777	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 34	456
関 係 会 社 出 資 金	281	281	自 己 株 式	△ 13	9
長 期 貸 付 金	53	77	資 本 合 計	28,025	29,404
繰 延 税 金 資 産	7,458	2,663	負 債 及 び 資 本 合 計	80,644	70,694
そ の 他	856	767			
貸 倒 引 当 金	△ 4	△ 7			
資 産 合 計	80,644	70,694			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

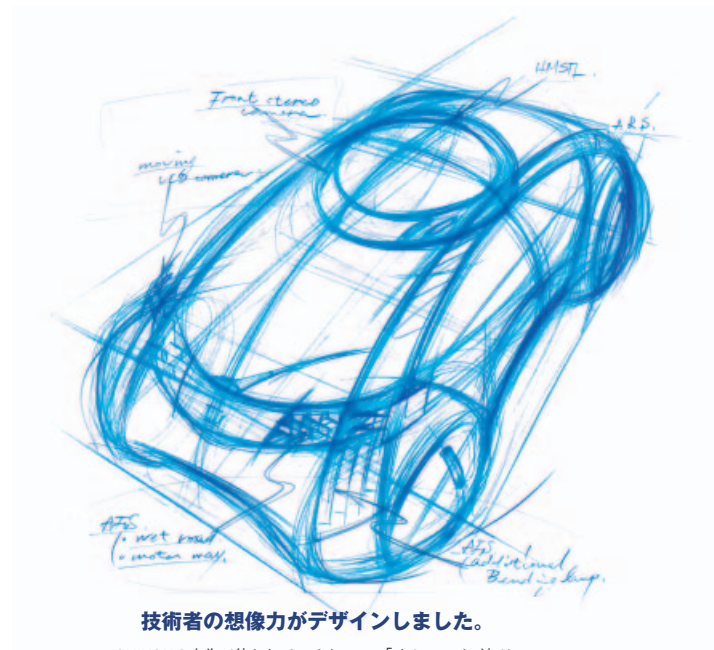
(単位：百万円)		
科 目	第75期 平成16年 4 月 1 日から 平成17年 3 月31日まで	第74期 平成15年 4 月 1 日から 平成16年 3 月31日まで
売 上 高	91,134	90,008
売 上 原 価	81,604	80,105
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	9,216	9,568
営 業 利 益	313	333
営 業 外 収 入	1,272	1,340
受 取 利 息 及 び 配 当 金	192	163
固 定 資 産 賃 貸 料	449	471
そ の 他 の 営 業 外 収 入	631	704
営 業 外 費 用	1,583	705
支 払 外 利 息	103	96
固 定 資 産 貸 与 費 用	176	207
そ の 他 の 営 業 外 費 用	1,303	401
経 常 利 益	3	968
特 別 利 益	754	2,269
投 資 有 価 証 券 売 却 益	751	2,187
そ の 他 の 特 別 利 益 損 失	2	82
子 会 社 株 式 評 価 損 失	4,605	1,380
そ の 他 の 特 別 損 失	2,871	1,100
税 引 前 当 期 純 利 益	1,733	280
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	△ 3,847	1,857
法 人 税 等 調 整 額	666	1,789
当 期 繰 越 利 益 額	△ 4,241	△ 438
前 期 繰 越 利 益 額	△ 273	506
当 期 未 処 分 利 益	896	997
	287	287
	335	1,216

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第75期利益処分

(単位：円)		
科 目	金 額	
当 期 未 処 分 利 益		335,065,115
別 途 積 立 金 取 崩 額		500,000,000
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 取 崩 額		4,815,750
計		839,880,865
これを次のとおり処分いたします。		
株 主 配 当 金 (1 株 に つ き 3 円)	287,927,298	
取 締 役 賞 与 金	23,640,000	
監 査 役 賞 与 金	5,800,000	317,367,298
次 期 繰 越 利 益		522,513,567

(注1) 平成16年12月 9 日に287百万円 (1 株につき 3 円) の中間配当を実施しております。
(注2) 固定資産圧縮積立金の取崩額は租税特別措置法に基づくものであり、税効果会計に基づく税額相当額を控除した数値で表示しております。
(注3) 株主配当金は、当期末の発行済株式の総数から自己株式 (61,085株) を除いて算定したものであります。



技術者の想像力がデザインしました。

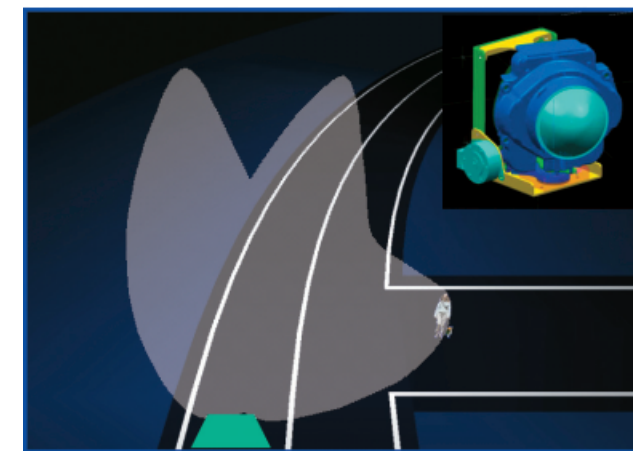
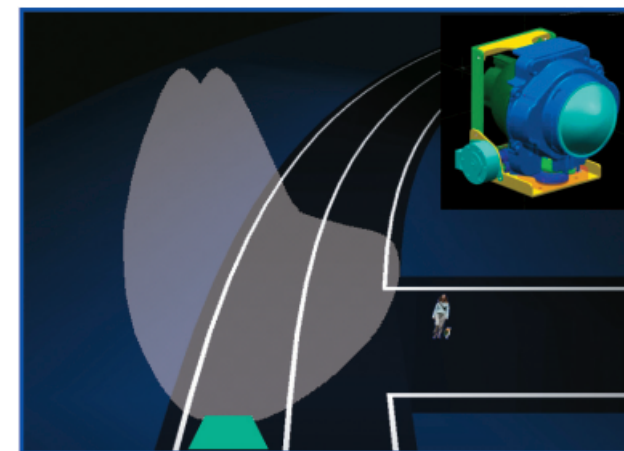
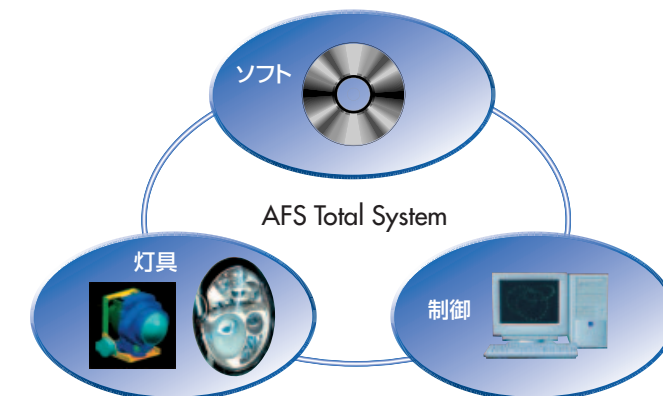
ICHIKOHの広告で使われているクルマ、「オムニアイズ」は
全方位視認システムを搭載し、クルマの視界を飛躍的に
向上させた技術のコンセプトモデル……。
私達の将来技術の方向を示す、象徴的な存在です。

多彩なモデルに、多彩なフォルムの安全性能を提供しています。

それぞれのクルマのデザインに合わせ、常にベストの安全を提供し続けるICHIKOH。高度な配光設計シミュレーションや、製品の見映えを忠実に再現する3Dシミュレーション等、その先進の開発技術と確かな品質は、国内・国外の自動車メーカーからの高い評価と信頼に表れています。ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ドアミラー……。あなたのクルマにもきっとICHIKOHの製品が使われています。

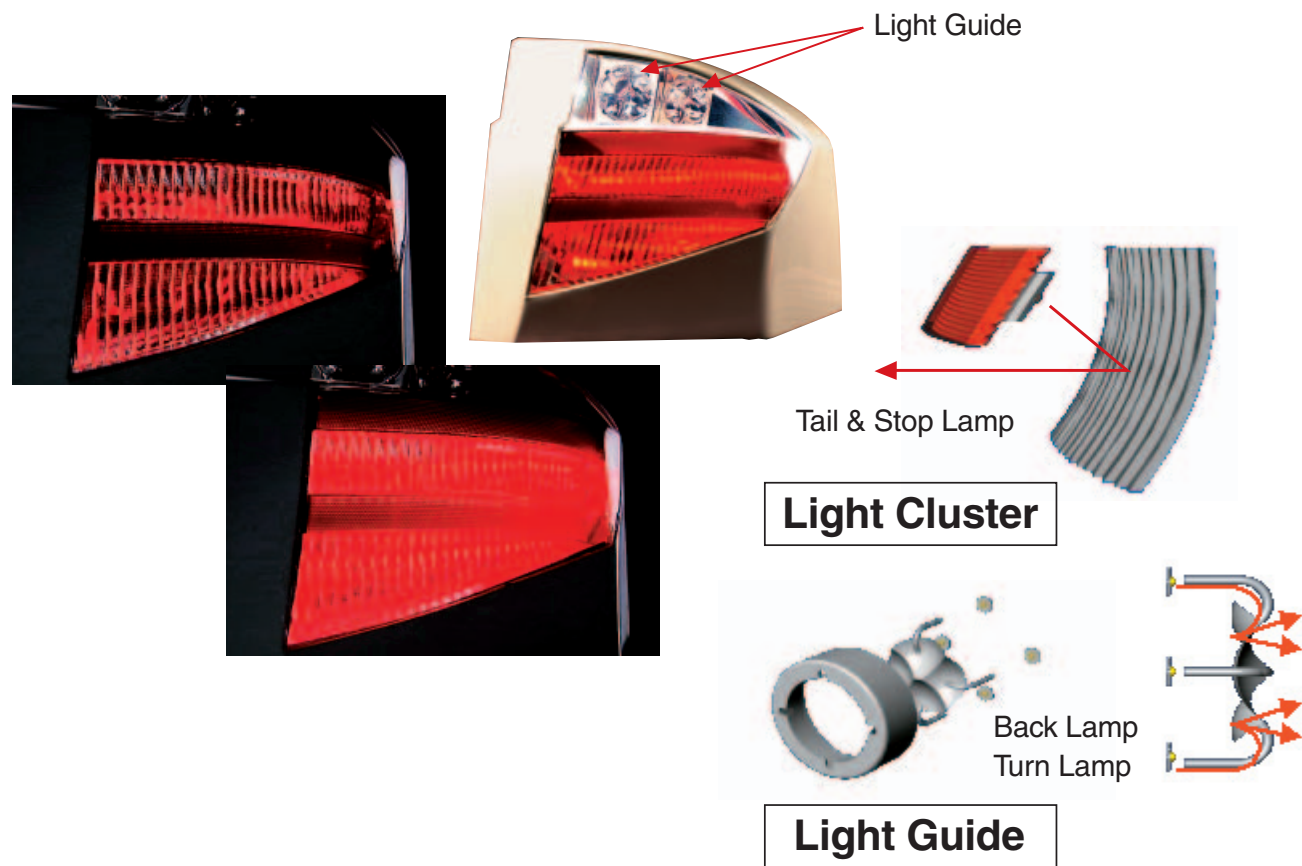
AFS ECU

自社開発のAFS制御回路は、様々な道路環境、走行シーンを想定した実車走行試験によって蓄積されたデータをもとに、ドライバーインターフェイスをも考慮した独自のソフトウェアを導入し、より安全で快適な夜間の視界を提供するために役立っています。また、LED光源を組合わせたAFSについても、近い将来の実現を目指して電子制御技術の開発を進めています。



LED Rear Combination Lamp

当社のオンリーワン技術であるライトクラスターは、薄型でフレキシブルなLED光源ユニットとして新しい見映えを表現する無限の可能性を持っています。薄型でフレキシブルというメリットを最大限に活かし、これまで難しかった狭いスペースへの配置や、曲面に沿ったレイアウトを可能にしました。また、独特な光の奥行き感や浮遊感が表現できます。現在、トヨタ自動車様様の新型クラウンアスリート、ロイヤルサルーンに全車標準採用されています。



Real Viewer

様々な環境下での製品の見え方、映りこみ等を精度よく再現し、商品性評価や設計検討などに役立つ画期的な3次元シミュレーション。簡単な操作によって製品を見たい角度から捉えることができる「インタラクティブ機能」と細部の確認が容易な「ズーム機能」により様々な用途での活用が期待できます。



株式の状況（平成17年3月31日現在）

株式の総数及び資本金

資 本 金	8,929,538,428円
発行済株式の総数	96,036,851株
授 権 株 数	200,000,000株
株 式 の 異 動	
名 義 書 換 件 数	226件
名義書換株式数	5,893,256株
期 末 株 主 数	9,749名

大株主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	議決権個数	議決権比率
ヴァレオ・バイエン	22,664 千株	22,664 個	23.72 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	5,869	6.14
株式会社みずほコーポレート銀行	4,775	4,775	4.99
株式会社あおぞら銀行	2,909	2,909	3.04
ダイハツ工業株式会社	2,712	2,712	2.84
株 式 会 社 U F J 銀 行	2,068	2,068	2.16
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1,913	2.00
日本証券金融株式会社	1,881	1,881	1.97
日本生命保険相互会社	1,860	1,860	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,822	1,822	1.91

（注）持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

会社概要（平成17年3月31日現在）

商 号
設 立
事 業 所

本 社	〒141-8627 東京都品川区東五反田5-10-18 TEL 03（3443）7281
テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463（96）1488
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463（96）1451
大泉製造所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276（63）2271
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274（23）2211
中津川製造所	〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-37 TEL 0573（68）6615
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274（23）2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社3-2112-2 TEL 052（709）2011
AM札幌センター	〒005-0036 北海道札幌市南区南36条西11-2-13 TEL 011（581）2166
大泉営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276（63）0760
大阪営業所	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町15-39 TEL 06（6384）6551
九州営業所	〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-3-1 TEL 093（522）5711

取締役及び監査役

代表取締役社長	市 川 侑 男
専務取締役	寺 田 勝 彦
専務取締役	大 雲 直 哉
専務取締役	青 木 俊 朗
専務取締役	磯 部 孝 征
常務取締役	梶 谷 達 雄
常務取締役	東 出 洋 治
取 締 役	津 崎 栄 二
取 締 役	中 野 孝 雄
取 締 役	山 本 政 美
取 締 役	二 川 幸 司
取 締 役	須 賀 進
取 締 役	大 坪 千 二
取 締 役	安 藤 信 雄
取 締 役	小宮山 文 夫
取 締 役	ティエリー・ドゥリュー
常勤監査役	山 本 文 雄
常勤監査役	住 野 稠 生
監 査 役	堤 淳 一
監 査 役	蛭 子 優

従 業 員 数

連 結	3,688名
単 独	2,098名